

## 第 18 回大学職員セミナー

# 激動の時代に輝く大学を創る

## — 職員の役割を問う —

第 I 回 平成 19 年 9 月 14 日(金)～15 日(土)  
「総合的學生支援体制の構築における職員の役割を問う」

主 催：財団法人 大学セミナーハウス  
協 賛：社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩  
場 所：八王子セミナーハウス（東京都八王子市下柚木 1987-1）

### 趣 旨

2007 年は、大学全入時代を迎えるとともに、団塊の世代が定年を迎える年でもあります。また、教育再生会議の提言や中教審答申を受けて、教育のあるべき姿が大きく問われている年でもあります。これまで、少子高齢化、国際化、国立大学法人化、規制緩和等の波に揉まれ、生き残りをかけて改革路線を走り続けている大学は、更に一層の対応を迫られています。

このような激動の時代に個性ある大学を創るために、職員の果たす役割と責任が大きく問われていると思います。我々職員は今何をなすべきかを。

第 18 回大学職員セミナーは、この課題を正面から問いたいと思います。国公立大学職員が一堂に会する研修の場はこのセミナーハウスの職員研修しかありません。国公立大学職員が、ともに集い、職員の役割を考える唯一の「場」です。その「場」を生かして、「総合的學生支援体制の構築」「大学のブランド戦略の構築」「大学の社会的責任と危機管理体制の構築」のテーマを通して、3 回の連続研修で「職員は何をなし得るか」を、多彩な講師陣を迎えて、参加者全員で考えていきたいと思います。

今回の研修の目的は、①大学の抱えている課題を通して職員の役割を考える、②課題解決能力とプレゼンテーション能力の涵養、③ヒューマンネットワークの構築、④大学を取り巻く環境の最新情報を得る、ことです。セミナーハウスの研修は、国公立大学職員の研修参加者が集うことで、人的ネットワーク構築という大きな財産を生み出すことでしょう。あわせて、「特別講演」として、文部科学省の責任ある立場の方から聞く機会と、学長をはじめ教員や役員から職員への役割と期待を聞く機会をつくることによって、参加者に新たな視点と情報を提供します。

第 I 回は、「総合的學生支援体制の構築」をテーマに、青木加奈子先生（東京経済大学学生支援部学生課）、齋藤諱淳先生（武蔵野大学学長）、及び村田善則先生（文部科学省高等教育局学生支援課長）をお呼び致します。

（大学職員セミナー企画委員長 程島俊介）

- \* 3 回通しの募集ですが、1 回のみのご参加も可能ですのでお問い合わせください。
- \* 教員のご参加も歓迎致します！

### ◆ 開催日

第 I 回 平成 19 年 9 月 14 日(金)～15 日(土)

テーマ：「総合的學生支援体制の構築における職員の役割を問う」

◆ 多彩な講師陣

1. 東京経済大学学生支援部学生課 青木加奈子先生
2. 武蔵野大学学長 齋藤諦淳先生
3. 文部科学省高等教育局学生支援課長 村田善則先生

◆ 研修内容

第1日目 9月14日(金)

- 13:00 オリエンテーション  
13:10 参加者紹介  
14:00 総合的學生支援体制に関する問題提議：東京経済大学学生支援部 青木加奈子  
15:00 総合的學生支援体制に関する参加者からの課題発表：参加者数名  
19:00 グループディスカッション  
21:00 懇親会

第2日目 9月15日(土)

- 9:00 全体会：グループディスカッションの発表  
10:00 次回テーマの講演：「大学のブランド力について」武蔵野大学学長 齋藤諦淳  
13:30 特別講演：「総合的學生支援について」文部科学省高等教育局学生支援課長 村田善則

◆ ご参加にあたっての留意事項

- ① 参加者全員にテーマ「総合的學生支援多姿勢の構築における職員の役割」に関するレポートを事前に提出していただきます。自分の大学の事例とご自身の考えを述べていただいて結構です。
- ② 「課題発表」は、事前レポートのうちから数名の方をお願い致します。
- ③ 「グループディスカッション」は同一テーマの下に、事前レポートを中心に行います。
- ④ 「全体会」は、グループディスカッションの報告会とします。

◆ 企画委員

- |       |                         |      |
|-------|-------------------------|------|
| [委員長] | (社)学術・文化・産業ネットワーク多摩常務理事 | 程島俊介 |
| [委員]  | 創造学園大学教授                | 高石道明 |
| [委員]  | 桜美林大学大学院教授              | 高橋真義 |
| [委員]  | 中央大学経理部副部长              | 横田利久 |

◆ 募集要項

- 募集対象： 全3回を通して参加でき、これから大学を担う若手・中堅の方。(1回のみも可)  
募集人員： 60名  
参加費： 69,000円(全3回分、税・宿泊・食事(1泊につき4食)・資料代を含む)  
(1回は25,000円)  
申込方法： ホームページ掲載の申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。折り返しご案内をメールでお送り致します。連絡の無い場合は電話でご確認下さい。  
その他： 当ハウスは一般の宿泊施設としてもご利用頂いております。  
セミナーの前日またセミナー終了後、宿泊を希望される方はご連絡下さい。

◆ 交通

東京駅より約1時間半、羽田空港より約2時間。詳しい地図はホームページをご覧ください。

◆ 予告！募集中

第2回 10月26日～27日

テーマ：「大学のブランド戦略の構築における職員の役割を問う」

第3回 12月7日～8日

テーマ：「大学の社会的責任と危機管理体制の構築における職員の役割を問う」

第18回大学職員セミナー

激動の時代に輝く大学を創る

— 職員の役割を問う —

第Ⅱ回 平成19年10月26日(金)～27日(土)  
「大学のブランド戦略の構築における職員の役割を問う」

主 催：財団法人 大学セミナーハウス  
協 賛：社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩  
場 所：八王子セミナーハウス（東京都八王子市下柚木1987-1）

趣 旨

2007年は、大学全入時代を迎えるとともに、団塊の世代が定年を迎える年でもあります。また、教育再生会議の提言や中教審答申を受けて、教育のあるべき姿が大きく問われている年でもあります。これまで、少子高齢化、国際化、国立大学法人化、規制緩和等の波に揉まれ、生き残りをかけて改革路線を走り続けている大学は、更に一層の対応を迫られています。

このような激動の時代に個性ある大学を創るために、職員の果たす役割と責任が大きく問われていると思います。我々職員は今何をなすべきかを。

第18回大学職員セミナーは、この課題を正面から問いたいと思います。国公立大学職員が一堂に会する研修の場はこのセミナーハウスの職員研修しかありません。国公立大学職員が、ともに集い、職員の役割を考える唯一の「場」です。その「場」を生かして、「総合的學生支援体制の構築」「大学のブランド戦略の構築」「大学の社会的責任と危機管理体制の構築」のテーマを通して、3回の連続研修で「職員は何をなし得るか」を、多彩な講師陣を迎えて、参加者全員で考えていきたいと思ひます。

今回の研修の目的は、①大学の抱えている課題を通して職員の役割を考える、②課題解決能力とプレゼンテーション能力の涵養、③ヒューマンネットワークの構築、④大学を取り巻く環境の最新情報を得る、ことです。セミナーハウスの研修は、国公立大学職員の研修参加者が集うことで、人的ネットワーク構築という大きな財産を生み出すことでしょう。あわせて、「特別講演」として、外部教育機関や文部科学省の責任ある立場の方から聞く機会と、学長をはじめ教員や役員から職員への役割と期待を聞く機会をつくることによって、参加者に新たな視点と情報を提供します。

第Ⅱ回は、「大学のブランド戦略の構築」をテーマに、植草茂樹先生(新日本監査法人公会計部)、山岸駿介先生(日本私学教育研究所理事)をお呼び致します。

(大学職員セミナー企画委員長 程島俊介)

\* 教員の方のご参加も歓迎致します！

◆ 講師

1. 新日本監査法人公会計部、学校法人経営管理支援室 植草茂樹先生
2. 財団法人日本私学教育研究所理事・所長 山岸駿介先生

◆ 研修内容

第1日目 10月26日(金)

- 13:00 オリエンテーション
- 13:10 参加者紹介
- 14:00 大学のブランド戦略に関する問題提議：企画委員 高石道明
- 15:00 大学のブランド戦略の構築に関する参加者からの課題発表：参加者数名
- 19:00 グループディスカッション
- 21:00 懇親会

第2日目 10月27日(土)

- 9:00 全体会：グループディスカッションの発表
- 10:50 次回テーマの講演：「大学の社会的責任と危機管理」新日本監査法人公会計部 植草茂樹
- 13:30 特別講演：「大学のブランド戦略を考える」（財）日本私学教育研究所 山岸駿介

◆ ご参加にあたっての留意事項

- ① 参加者全員にテーマ「大学のブランド戦略の構築における職員の役割」に関するレポートを事前に提出していただきます。自分の大学の事例とご自身の考えを述べていただいで結構です。
- ② 「課題発表」は、事前レポートのうちから数名の方をお願い致します。
- ③ 「グループディスカッション」は同一テーマの下に、事前レポートを中心に行います。
- ④ 「全体会」は、グループディスカッションの報告会とします。

◆ 企画委員

[委員長]	(社)学術・文化・産業ネットワーク多摩常務理事	程島俊介
[委員]	創造学園大学教授	高石道明
[委員]	桜美林大学大学院教授	高橋真義
[委員]	中央大学経理部副部長	横田利久

◆ 募集要項

- 募集対象：これから大学を担う若手・中堅の方。(1回のみも可)
- 募集人員：60名
- 参加費：25,000円(1回分、税・宿泊・食事・資料代を含む)
- 申込方法：ホームページ掲載のメールフォームより必要事項をご記入の上、お申込み下さい。  
折り返しご案内をメールでお送り致します。連絡の無い場合は電話でご確認下さい。
- その他：当ハウスは一般の宿泊施設としてもご利用頂いております。  
セミナーの前日またセミナー終了後、宿泊を希望される方はご連絡下さい。

◆ 交通

東京駅より約1時間半、羽田空港より約2時間。詳しい地図はホームページをご覧ください。

第Ⅲ回 予告！募集中

日程：12月7日～8日

テーマ：「大学の社会的責任と危機管理体制の構築における職員の役割を問う」

特別講演講師：桜美林学園理事長、桜美林大学学長 佐藤東洋士先生

文部科学省研究振興局長 徳永 保先生

第 18 回大学職員セミナー

激動の時代に輝く大学を創る

— 職員の役割を問う —

第Ⅲ回 平成 19 年 12 月 7 日(金)～8 日(土)

「大学の社会的責任と危機管理体制の構築における職員の役割を問う」

主 催：財団法人 大学セミナーハウス  
協 賛：社団法人 学術・文化・産業ネットワーク多摩  
場 所：八王子セミナーハウス（東京都八王子市下柚木 1987-1）

趣 旨

2007 年は、大学全入時代を迎えるとともに、団塊の世代が定年を迎える年でもあります。また、教育再生会議の提言や中教審答申を受けて、教育のあるべき姿が大きく問われている年でもあります。これまで、少子高齢化、国際化、国立大学法人化、規制緩和等の波に揉まれ、生き残りをかけて改革路線を走り続けている大学は、更に一層の対応を迫られています。

このような激動の時代に個性ある大学を創るために、職員の果たす役割と責任が大きく問われていると思います。我々職員は今何をなすべきかを。

第 18 回大学職員セミナーは、この課題を正面から問いたいと思います。国公立大学職員が一堂に会する研修の場はこのセミナーハウスの職員研修しかありません。国公立大学職員が、ともに集い、職員の役割を考える唯一の「場」です。その「場」を生かして、「総合的學生支援体制の構築」「大学のブランド戦略の構築」「大学の社会的責任と危機管理体制の構築」のテーマを通して、3 回の連続研修で「職員は何をなし得るか」を、多彩な講師陣を迎えて、参加者全員で考えていきたいと思います。

今回の研修の目的は、①大学の抱えている課題を通して職員の役割を考える、②課題解決能力とプレゼンテーション能力の涵養、③ヒューマンネットワークの構築、④大学を取り巻く環境の最新情報を得る、ことです。セミナーハウスの研修は、国公立大学職員の研修参加者が集うことで、人的ネットワーク構築という大きな財産を生み出すことでしょう。あわせて、「特別講演」として、外部教育機関や文部科学省の責任ある立場の方から聞く機会と、学長をはじめ教員や役員から職員への役割と期待を聞く機会をつくることによって、参加者に新たな視点と情報を提供します。

第Ⅲ回は、「大学の社会的責任と危機管理体制の構築」をテーマに、佐藤東洋士先生（桜美林大学学長）、徳永保先生（文部科学省研究振興局長）をお呼び致します。

（大学職員セミナー企画委員長 程島俊介）

\* 教員の方のご参加も歓迎致します！

【大学職員セミナーの目的】

大学運営に関する国・公・私立の壁を超えた共通の課題や問題をテーマに選び、大学職員を対象とする合宿セミナーを行うことによって、情報交換の場を提供し、職員の意識と資質の向上を図る機会とする。もって、教育・研究機関としての大学の健全な発展に寄与することを目的とする。

◆ 特別講演講師

- ☆ 桜美林学園理事長、桜美林大学学長 佐藤東洋士先生  
☆ 文部科学省研究振興局長 徳永 保 先生

◆ 研修内容

第1日目 12月7日(金)

- 13:00 オリエンテーション  
13:10 グループディスカッション(前回の検証)  
14:30 大学の社会的責任と危機管理に関する問題提議:企画委員 高橋真義  
15:20 大学の社会的責任と危機管理体制に関する参加者からの課題発表:参加者数名  
19:00 グループディスカッション  
21:00 懇親会

第2日目 12月8日(土)

- 9:00 グループディスカッション(まとめ)  
10:00 全体会(各グループ協議内容の発表)  
10:50 特別講演:「大学の社会的責任について」 桜美林大学学長 佐藤東洋士  
13:30 特別講演:「大学の社会的責任と危機管理」文部科学省研究振興局長 徳永 保  
引き続き修了式をおこないます。

◆ ご参加にあたっての留意事項

- ① 参加者全員にテーマ「大学の社会的責任についての職員の役割」に関するレポートを事前に提出していただきます。自分の大学の事例とご自身の考えを述べていただいて結構です。
- ② 「課題発表」は、事前レポートのうちから数名の方をお願い致します。
- ③ 「グループディスカッション」は同一テーマの下に、事前レポートを中心に行います。
- ④ 「全体会」は、グループディスカッションの報告会とします。

◆ 企画委員

- |       |                         |      |
|-------|-------------------------|------|
| [委員長] | (社)学術・文化・産業ネットワーク多摩常務理事 | 程島俊介 |
| [委員]  | 創造学園大学教授                | 高石道明 |
| [委員]  | 桜美林大学大学院教授              | 高橋真義 |
| [委員]  | 中央大学経理部副部長              | 横田利久 |

◆ 募集要項

- 募集対象: これから大学を担う若手・中堅の方。  
募集人員: 60名  
参加費: 25,000円(税・宿泊・食事・資料代を含む)  
申込方法: ホームページ掲載のメールフォームより必要事項をご記入の上、お申込み下さい。  
折り返しご案内をメールでお送り致します。連絡の無い場合は電話でご確認下さい。

◆ 交通

東京駅より約1時間半、羽田空港より約2時間。詳しい地図はホームページをご覧ください。

◆ お問い合わせ先: 八王子セミナーハウス 事業推進部企画広報担当

〒192-0372 東京都八王子市下柚木 1987-1  
TEL: 042-676-8532(直通) FAX: 042-676-1220  
E-mail: kikaku-koho@seminarhouse.or.jp  
URL: <http://www.seminarhouse.or.jp/>